

第11回アジア太平洋フェスティバル

フィルムフェスティバル *in* 北名古屋

☑ 入場料 無料。先着順。入替制。整理券が必要です。

第1部 10:30~11:40
(開場 10:00)

◇10:30~11:15

「PIANO ピアノ」

～ウクライナの尊厳を守る闘い～

長編ドキュメンタリー映画 2015年 ポーランド映画 41分

監督 ピータ・マリア・ドルィガス



2014年2月、新ロシア派の政権に抗議する市民や学生が機動隊と対峙した「ユーロ・マイダン革命」。この騒乱のまっただ中の首都キーウの独立広場で、音楽院の学生アントネッタ・ミッシェンコが、バリケードにされようとしたピアノの救い出した。

厳寒の広場で若きアントネッタが演奏するショパンは人々の心をつかむ。

そして、世界的に有名な作曲家であるリュドミラ・チチュクや兵士

ヴォロディミル、覆面の男ポーダンも演奏に加わっていく。

政権側は、彼らを「ピアノの過激派」と呼んだ。

広場のピアノと4人の英雄は、やがて、ウクライナの平和革命の象徴となり、

同時に、権威主義的支配への抵抗となっていく。

◇11:15~11:40

解説

杉本一直氏 (愛知淑徳大学教授)

佐藤久美氏 (名古屋国際工科専門職大学教授 /
あいち国際女性映画祭イベントディレクター)

第2部 13:30~15:30
(開場 13:00)

◇13:30~15:00

劇場版「荒野に希望の灯をともし」

～百の診療所より一本の用水路を～

長編ドキュメンタリー映画 2022年 日本映画 90分

監督 谷津賢二



アフガニスタンとパキスタンで35年にわたり、病や戦乱、そして、干ばつに苦しむ人々に寄り添いながら命を救い、生きる手助けをしてきた医師・中村哲。

NGO 平和医療日本 (PMS) を率いて、医療支援と用水路の建設を行ってきた。

活動において特筆すべきことは、その長さだけでなく、支援の姿勢がまったく、ぶれることなく一貫していたことだ。一連の活動は、世界から高く評価され、

愛されてきた。今、アフガニスタンに建設した用水路群の水が、かつての干ばつの大地を恵み豊かな緑野に替え、65万人の命を支えている。

しかし、2019年12月。用水路建設現場へ向かう途中、中村医師は何者かの凶弾に倒れた。その突然の死は、多くの人々に深い悲しみをもたらした。だが、一方で私たちに強く問いかけもする。

中村医師が命を賭したものは何なのか。中村哲が遺した文章と1000時間に及び記録映像をもとに、現地活動の実践と思想をひも解く。

◇15:00~15:30

解説

木全純治氏 (あいち国際女性映画祭ディレクター)